

平成13年度第3回幹事会報告

2001年10月18日
於：国立京都病院

[報告・協議事項]

事務局（総務・会計）：(1)会員異動：無し。(2)文化庁訪問（7/25）：会誌21巻3号に報告記事掲載。(3)JMLA 基礎研修会（8/8-10 京都府立医大）：実行委員；山室真知子、講師；小田中徹也。(4)JMLA 近畿平成13年度シンポジウム第2回実行委員会会議（9/4 滋賀医大）：林伴子出席。(5)JMLA より、第8回医学図書館員研究会・継続教育コース（11/14-16 北里大学）の案内が9月6日にファックスであった。（締め切り10月10日）(6)日本病院会全国図書研究会（10/5-6 東京）に後援名義使用の協力。(7)第96回研修会（10/24 住友病院）。(8)第79回近畿地区医学図書館協議会例会（10/25 京都大学医学図書館）小田中徹也出席予定。(9)第4回 EBM 情報システムワーキンググループ会議（10/26 京都大学）。(10)病図協ドメイン（hosplib.org）にトラブルがあり（10/12-15）アクセス不能となった、幹事および関係者にメールで案内。その後、16日からサーバー機能は復帰したが、契約更新時期を機にレンタルサーバーの代理店との契約を中止し、信頼性を第一義に新規にDTI-Magic と契約した。(11)会計中間報告では収入項目の調整について事情説明あり。

研修部：第12回勉強会（8/2 住友病院附属看護学院）、テーマ：パソコンともしっかりと仲良く：MS-Excel (1)。参加者16名。第13回勉強会（8/23 住友病院附属看護学院）、テーマ：パソコンともしっかりと仲良く：MS-Excel (2)。参加者20名。第14回勉強会（9/12 東芝神戸ビル）、テーマ：パソコンともしっかりと仲良く：MS-Access。参加者16名。参加者へアンケート実施。今後の予定は次のとおり。第96回研修会（10/24 住友病院）、テーマ：雑誌～これからの利用環境を考える～。第97回研修会（2002/1月 京都市内）、テーマ：医学情報公開と病院図書館の果たす役割。第98回研修会（2002/3月下旬 ベアール神戸を予定）、例年どおり総会と同日に開催し、「事例・研究報告会」とする。近畿地区医学図書館協議会シンポジウム（11/29 滋賀医科大学）、テーマ：EBM 活用と図書館員による検

索オリエンテーション事例。

会誌編集部：会誌第26巻2号、3号の発行について順調な定期刊行の経過報告があった。会計報告では郵送費の基準化の説明があった。また、「編集の手引き改訂版」を作成した。会誌編集部専用の封筒を作成し配布に使用することにした。神戸大学附属図書館への「阪神・淡路大震災関係史料」の寄贈。会誌第26巻4号の編集経過報告では、会員の記事の扱いと会議運営について質疑応答があり、留意点を確認の上、了承された。また、会誌読者へアンケート調査を行うことにした。

統計調査部：前もって幹事に配布されていた昨年度の調査用紙の「見直し」について検討した。その結果、「A. 管理機能」「B. サービス機能」の2項目については隔年の実施にし、「年度統計」のみを毎年実施することにした。また、質問細目については現状に照らして必要箇所は訂正することにした。

目録編集部：「現行医学雑誌所在目録 2001年度版」について、20会員からデータが提出されていないが、現時点で打ち切り、編集作業中である。年度内の発行予定。

[協議・決定事項]

(1) 病図協パンフレット：

概ね各事業部からの原稿が提出されたので、これらをまとめ、全体の構成や内容を検討し、編集作業に移る。

(2) 認定事業報告書：

病図協の旧認定委員が編集執筆を担当し、A4版30ページ以内の小冊子にまとめ、会員に配布する。作成に当たっては、コピー機を使用し簡易製本とする。経費は予備費から支出し6万円を目安とする。

(3) 病図協所蔵資料の保管先：

現在、星ヶ丘厚生年金病院で保管してもらっている病図協の所蔵資料を来年度から移転する。それに当たって、資料量を把握し、不要なものは廃棄する。また、レンタル倉庫の費用を調査し、可能ならこれを利用する。

(4) 病図協ホームページの更新：

役割を分担し、チームで編集に当たる。また、各部からのデータを有効に活かす態勢を整え、早急に更新することにした。